

その時どう動く

生活指導部 熊坂佳太郎

避難訓練では、火災や地震、津波や不審者侵入などが発生した際に、児童が適切に行動できるように指導を行っています。いっどこで起きるかわからないからこそ児童一人一人が「その時 どう動くか」がとても重要になります。避難訓練は毎月1回行われ、4月からは上記のような様々なパターンでの訓練を行ってきました。3学期からは予告なしで実施をしています。先月26日（金）には地震発生 of 訓練を行い、基本的な動作の確認をしました。今年度残りの2回で、今まで身に付けてきた判断・行動を実際の訓練で磨き、いざという時に発揮して児童の命を守れるよう、教職員全員で指導していきます。

地域別児童会

生活指導部 大庭 正泰

銀座からはもとより、区内の様々な場所から児童が集まる泰明小学校は、子どもたちがバスや電車、地下鉄などを利用し、様々なルートを通して集い、成り立っている学校です。子どもたちは、その通学ルートごとに、地域別児童会を開き、望ましい登下校のあり方について意識できるように話し合い、改善の方法について意見を出し合っています。

会を開く日は、教職員による地域巡回指導、PTAによるバス乗車当番パトロールも併せて行われますが、何より大切なのは高学年の児童が、班の全員が安全にマナーよく下校できるように、今まで身に付けてきたことを下級生に伝えていくことです。最上級生の6年生と過ごす時間もあとわずか、守られるべきマナーがしっかりと下級生に引き継がれ実践できるように、地域別児童会を組織していきます。

あしたへダッシュ！

第2学年主任 別府 陽子

2年生の生活科では、「あしたへダッシュ！」と題し、子どもたちがこれまでの自分を振り返り、今の自分を見つめ、自分の将来について考えていく学習をすすめています。

学習の始めに、今までの自分を振り返るきっかけとして、小さい頃の思い出の品を紹介し合いました。生まれた時の写真を見て「かわいい！」「今と顔が同じだね。」など、赤ちゃんだった頃を目にしたり、小さい頃に着ていた洋服を見て、「こんなに小さかったんだ。」と成長を感じたりすることができました。

今後の学習では、お家の方へインタビューをし、生まれてから2年生になるまでの自分についてより詳しく調べていきます。日々、見守ってくれている家族のおかげで今の自分がある、という気持ちにも触れさせていきたいと思っています。

昔の道具を使ってみよう

第3学年担任 遠藤久美子

3年生は社会科と総合的な学習の時間に、昔のくらしや道具について学習をしています。

「きなこを作ったことがある人はいますか。」と聞いてみると、きよんとした子どもたち。「きなこはスーパーで買うものじゃないんですか。」と尋ねてきました。現代社会はとても便利でたくさんのが既製品として購入することができます。私自身、きなこを大豆から作るのは初めてで、子どもと一緒に作ってみるととても大変。大豆をつぶすのに力はあるし、すり鉢とすりこぎ棒を使って大豆をすると時間はかかるし、売っているような細かい粉にするには、驚くほど手間がかかることが分かります。「疲れた。」「大変。」などと言いつつも、やっぱり自分で作った手作りのきなこの味は格別で「おいしい。」と大喜びでした。

ほかにも七輪で餅を焼く体験なども行い、現代社会の便利さと、手間隙をかけ自分で作ることの良さを両方を体験し、子どもたちはまたひとつ学び、成長の糧にしました。